

地方航空路線活性化プログラムの評価基準

提案内容項目	評価内容	様式 該当箇所	評価基準					評価結果
			S	A	B	C	F	
対象路線要件	路線要件を満足しているか。	様式1(3)	—	—	4項目を満足する。	—	3項目を満足する。	
課題分析・取組方針の	プログラム趣旨との整合性	様式1(5)	プログラムの趣旨と極めて整合している。	プログラムの趣旨と整合している。	プログラムの趣旨と概ね整合している。	プログラムの趣旨とあまり整合していない。	プログラムの趣旨と全く整合していない。	
	現状分析	様式1(4)	当該路線の現状について具体的かつ定量的な分析が行われているか。	適切な項目を定量的に分析している。	適切な項目をある程度定量的に分析している。	定性的だが適当な項目を分析している。	分析はしているが、適当な項目を分析していない。	分析されていない。
	課題設定	様式1(4)	路線の維持に向けた課題が具体的かつ整合的に設定されているか。	課題が当該地域の現状を踏まえて的確かつ具体的に設定されており、極めて妥当である。	課題が当該地域の現状を踏まえて的確に設定されており、妥当である。	課題の設定が妥当である。	課題の設定内容が妥当とはいえない。	課題が設定されていない。
	目標設定	様式1(4)、(5)	(1)的確な課題分析に基づき、(2)具体的かつ実現可能な目標設定がされており、(3)さらに関係者の行動指標にもなっているか。	(1)～(3)をすべて満足する目標設定である。	(1)及び(2)を満たした目標設定である。	目標設定の内容が明確である。	目標設定が不明確である。	目標が示されていない。
	実施手順	様式1(9)	取組全体の具体的かつ整合的な工程表が作成されているか。	主体別かつ分野別に具体的な工程表が示されている。	主体別又は分野別に具体的な工程表が示されている。	1年目の工程表は示されているが、2、3年目も含めた工程表が示されていない。	工程表が示されているが、具体的かつ計画的とはいえない。	工程表に具体性・計画性がない。
実施体制に準拠する	実施体制(地域内)	様式1(7)	地方公共団体が主体的に取り組みつつも、当該地域において多様な関係者と連携する体制が着実に取れているか。	関係者の役割分担及びコミットメントが具体的かつ明確である。	関係者の役割分担及びコミットメントが明確である。	関係者の役割分担が示されている。	関係者の役割分担が明確とはいえない。	関係者との連携体制や役割分担が一切示されていない。
	連携体制(地域外)	様式1(7)	発着地双方の協議会等について連携できる体制が確保されているか。	路線双方の協議会等で取組が実施される。	路線双方の協議会等の連携体制が取れている。	—	—	—
取組内容に関する評価基準	整合性	様式1(4)、(5)、(6)	提案地域の目標や課題と取組の内容に整合性があるか。	目標・課題と取組の整合性が極めて高い。	目標・課題と取組が整合している。	目標・課題と取組が概ね整合している。	目標・課題があまり取組に対応していない。	取組内容が目標・課題に対応していない。
	モデル性	様式1(5)、(6)	他地域や提案地域において実施されていない新規の取組であり、他地域へ転用できるモデル的な取組であるか。	全国的にも新たな取組であり、かつ他地域へ転用できる。	当該地域において新たな取組である。	概ね新規性が認められる取組である。	取組内容において新規性が具体的に示されているとはいえない。	新規性が全くない。
	計画性	様式1(9)、様式2	取組の実施方針や実施手順、それに必要な経費が具体的に提示されているか。	実施方針や実施手順、予算配分が具体的かつ明確である。	実施方針や実施手順、予算配分が明確である。	実施方針や実施手順、予算配分が示されている。	実施方針や実施手順、予算配分が具体的とはいえない。	実施方針や実施手順、予算配分が示されていない。
	取組実績	様式1(4)	提案地域においてこれまでも利用促進策に積極的に取り組んでおり、取組を自主的に実施できる環境が整っているか。	これまでも多様な主体が長期にわたり取組を実施してきた実績がある。	これまでも長期にわたり取組を実施してきた実績がある。	これまでも取組を実施している。	取組の実績がない。	(過去の取組において重大な問題があった)
	継続性	様式1(5)、(6)、(8)	提案地域における将来的な取組の継続実施に向けた可能性を有しているか。	PDCAにより、プログラム実施期間以後も含めた活動計画が具体的に示されている。	PDCAにより、プログラム実施期間以後も含めた活動計画が示されている。	プログラム実施期間以後の取組の方向性が示されている。	プログラム実施期間以後の取組の継続について、具体的に示されているとはいえない。	プログラム実施期間以後の取組の継続に関する提案がない。
	実効性	様式1(4)、(5)、(6)	取組内容が提案地域における課題解決のための効果的かつ具体的な解決策となっていること、及び取組内容が提案地域における目標達成のための効果的かつ具体的な解決策となっていること。	航空会社とのリスクシェア等、課題解決及び目標達成の実効性を担保する計画が具体的である。	航空会社とのリスクシェア等、課題解決又は目標達成の実効性を担保する計画が示されている。	取組の実施により課題解決や目標達成が概ね見込まれる。	取組の実施によっても課題解決や目標達成があまり見込まれない。	取組の実施によっても課題解決や目標達成には一切つながらない。
	地域活性化	様式1(5)、(6)	取組内容が経済の活性化や雇用の創出等、提案地域の活性化に貢献するものとなっているか。	産業や雇用など具体的な分野で極めて大きな効果が見込まれる。	産業や雇用など具体的な分野で効果が見込まれる。	地域活性化の効果が一定程度見込まれる。	地域活性化の効果がほとんど見込まれない。	地域活性化の効果が全く見込まれない。
	利便性	様式1(5)、(6)	取組内容が旅客の利便性の確保につながるものとなっているか。	旅客の便益が極めて大幅に向上する。	旅客の便益が大幅に向上する。	旅客の便益が一定程度向上する。	旅客の便益はわずかにある程度で、ほとんど変わらない。	旅客の便益は全く変わらない。
<b>評価件数(重要評価項目)</b>								—
<b>評価件数(その他)</b>								—

評価結果の黒枠: 重点的な評価項目

各評価項目でSもしくはFと評価された理由	
採択された場合に実施の中で改善の余地がある点	
その他自由記述	

評語	評語の意味
S	特に優れている
A	優れている
B	標準的
C	改善すべき問題・課題があるが、改善の余地がある
F	改善すべき大きな問題・課題がある

総合評価欄 (S,A,B,C,F)	
----------------------	--

## 【参考】評価基準「地域活性化」、「利便性」に係る具体例

「地域活性化」: 取組内容が経済の活性化や雇用の創出等、提案地域の活性化に貢献するものとなっているか。

- ・地域へのツアー設定・助成等によるインバウンド旅客の増大
- ・対象路線の両側地域の交流イベントの実施等による地域間交流の増大
- ・航空貨物輸送の利便性向上・利用助成等による地域産業の振興

「利便性」: 取組内容が旅客の利便性につながるものとなっているか。

### ○航空ダイヤ設定

- ・朝便や夜便の時間変更、旅客ニーズやツアー設定に対応した航空便の運航
- ・運航便の時間調整による、接続便とのスムーズな接続

### ○空港における利便性

- ・対象便のボーディングブリッジの利用や駐機場所の変更による移動距離の短縮
- ・ターミナルビル内の総合案内所の常駐による情報提供の充実
- ・空港における利用しやすい情報通信網の整備

### ○空港アクセス

- ・空港バスの増便・時間調整による出発・到着便の細やかなアクセス対応
- ・対象便利用客に対する低価格アクセス(乗り合いタクシー、無料バス等)の提供
- ・対象便利用客の駐車場利用料金助成

### ○その他

- ・予約ホームページ等の新設・改良による予約の手間の解消
- ・ITを活用した情報の提供(①運航情報、予約確認情報の提供等、②二次交通、地域情報の提供等)